

# ソーシャルメディアにおける炎上案件に関わるユーザの動向調査

PM コース 矢吹研究室 1342081 辻岡 大知

## 1 研究の背景

SNS やブログが一般に認知され始めてから炎上が発生している．炎上とは SNS やブログの投稿に対し非難・批判・誹謗・中傷などのコメントやトラックバックが発生することである．炎上は 2010 年から顕著に増加している [1]．

短文の投稿を共有するウェブ上の情報サービスである twitter では日常的に悪質な投稿がされる．例えばファッションセンターしまむらの店員に対し土下座を強要し、その光景を写真に収めツイートした件やコンビニエンスストアであるローソンの従業員がアイスクースの中に入った写真をツイートした件、ゲームセンターのアーケードゲームを壊した写真をツイートし、自慢した件などがある．

それに対し、悪ふざけや犯罪を自慢するツイート、情報モラル、情報リテラシーが低いツイートを見過ごさず、通報やリツイートをする正義感溢れる人達がいる．彼らはそれ相応の罰を受ける必要があるという気持ちや何度も同じ過ちを繰り返してしまわないようにという正義感から通報やリツイートをする．リツイート数が伸びると便乗してリツイートするユーザが増え、結果事態が大きくなってしまい炎上してしまう場合がある．炎上してしまい身元を特定されてしまったケースもある．

炎上しないためには対策が必要である．炎上しないための対策として多くの炎上をリツイートしているユーザをブロックするという手段がある．そのため、多くの炎上をリツイートしているユーザの特定をすることは炎上するリスク対策につながると考えた．

## 2 研究の目的

研究の目的は、悪ふざけの投稿や犯罪投稿、情報モラル、リテラシーの低い投稿をより多く拡散しているユーザの特定をすることである．

## 3 プロジェクトマネジメントとの関連

本研究はプロジェクトマネジメントにおける 10 個の知識エリアのうち、リスクマネジメントに関連付けられる．犯罪を自慢するツイートに対し、通報やリツイートすることにより、さらなる罪を犯す可能性を抑止している為である．また、多くの炎上をリツイートしているユーザをブロックすることにより炎上の対策になる為である．

## 4 研究の方法

本研究は twitter を使用しデータの集計をする．集めるデータは炎上しているツイートの id とそのツイートをリツイートしているユーザの内部 id である．内部 id とは twitter 内部でユーザの管理用にユーザ毎に振られているシリアルナンバーのことである．データを集めるため twitterAPI を使用する．本研究は 2 段階に分かれる．

1. twitterAPI を用いて炎上のデータを集める．
2. 集めたデータを Excel に表示し、分析する．

## 5 現在の進捗状況

本研究は以下のように進んでいる．

1. twitterAPI を使用することができるプログラムの作成をした．
2. 作成したプログラムを使用し 5 つの炎上を集め、統計を取った．

3. データの量が少なすぎるためユーザの特定をすることができなかったと考察した。

## 6 今後の計画

データを増やすことにより，多くの炎上ツイートをリツイートしているユーザの特定をできると仮定し，以下のように研究を進める計画である。

1. 自動で炎上ツイートを取得できるようにする。
2. 集めたデータの分析をする。
3. 多くの炎上ツイートをリツイートしているユーザを特定する。
4. 論文の執筆を行う。

## 参考文献

- [1] 総務省. 第2部 ict が拓く未来社会, 2015-12-16. <http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc242210.html>.